

科目名	専門総合演習 「保育原理実践演習」		担当教員	小久保 圭一郎		
			担当形態	単独		
テキスト	「最新保育講座1 保育原理」 ミネルヴァ書房	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	前期

#### 講義概要

##### ■到達目標

- ・ 保育原理に関する文献を精読し、その内容について説明できる。
- ・ 保育原理に関する文献の内容について、他者と議論できる。
- ・ リーダブルな保育原理に関するテキスト（教科書）を執筆できる。
- ・ 文献精読、他者との議論、テキスト執筆における自らの課題を発見する。

##### ■授業の概要

本演習では、保育原理に関する文献を精読し内容を充分理解した上で、受講生自身でリーダブルなテキストを執筆することを目指します。執筆のためには、まず保育原理のテキストに書かれている内容を理解していなければなりません。その理解した内容について、リーダブルな文章を執筆するのです。思想家の内田樹さんによれば、リーダブルな文章というのは「わかりやすい文章」でも「簡単な言葉が使っている文章」のこともなく「ずっと身体に入ってくる文章」のことです。それは「読者に対する敬意」をどれだけメタ・メッセージに込められるかにかかっています。本演習の目指すところは、つまりそういうことなのです。なお、よりリーダブルなテキストが執筆できるよう、適宜保育現場へのフィールドワークを実施する予定です。

##### ■授業計画

- 第1回 オリエンテーションー既存のテキストを精読する
- 第2回 「保育とは何か」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第3回 「保育の基盤として子ども観」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第4回 「子ども理解から出発する保育」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第5回 「子どもが育つ環境の理解」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第6回 「保育内容・方法の原理」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第7回 「保育の計画と実践の原理」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第8回 第1回-第7回の内容を確認し、成果をまとめる
- 第9回 「健康・安全と障がいのある子どもへの対応」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第10回 「保育の歴史に何を学ぶか」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第11回 「保育者に求められるもの」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第12回 「家族援助と子育て支援」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第13回 「保育の評価と苦情処理及び保育者の研修」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第14回 「保育の現状と課題」を理解し、内容に関するテキストを執筆する
- 第15回 これまでの演習課題を確認し、学習成果をまとめる

##### ■準備学習

保育原理に関する文献を精読し、次回の演習までに内容を説明できるようにしておく。

##### ■評価方法

- ・ 演習課題 — 50%
- ・ 演習修了レポート — 50%

参考文献	特になし。	特記事項	特になし。
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修	幼	
		保	